

# 磐城時報

九夕  
日刊  
編輯兼發行所 田中 弘成  
印刷所 加納活版所  
印刷部 加納活版所  
電話 二五五  
石城郡平町新屋敷十四  
番地  
郵政掛號 第三三三號  
代印部 磐城時報社  
一月金貳拾元 三月金五拾元  
半年金九拾元 一年金一拾八元  
廣告料 一行十文字 日金五文字  
日刊（日曜祭日）休刊

## 築港延期の報に 色を失つた小名濱町

### 四十五ヶ年の苦心を回想して 鈴木町長の悲痛な面持

縣民多年の要望漸く酬へられ今春五月來第一工事に着手し大商港實現の途上にある石城郡小名濱商港築港工事が民政黨内閣の緊縮方針の犠牲となつて遂に來年度から工事繰延とほゞ決定を見たこと一度新聞紙に發表されたや商港實現で有頂天となつて居た同町は極度大狼狽をなして昨日迄の活氣も何處へやら全呆然自失の有様で今後の成行きを極端に悲觀してゐるが、小名濱町當局では八日急施町會を招集し商港工事繰延對策に就き慎重審議を凝らすと共に先づ差當り委員を擧げて上京内務省土木局其他各關係方面に是れが繰延べ計劃中止の猛運動を開始することとなつた。委員には町會議員小野務平、岡山重喜、小松方、岡田長太郎、菅原彌作の五氏推され一同は九日東京に上京して目下各方面に繰延反對の運動中である前縣會議員小野晋平氏と共に關係方面に猛烈な反對運動を開始することになつた。之に就いて同町長鈴木榮氏は語

未だ判然と繰延べが決定したのではないでせうが、明治十

## 各町村の 基本財産

石城郡町村長支會では過般から郡内七町三十ヶ村の基本財産及公債の調査中であつたが八日全部終了した、これに依ると郡内全町村の基本財産は町村基本基金二十二萬三千六百五十八圓、小學校基本基金二十二萬七千六百三十八圓、救荒豫備金七萬四千四百三十圓、積立金四萬九千二百六十九圓、合計五十七萬九千九百九十三圓、その他公債八十六萬七千四百八圓、運用金十八萬四千八百二十九圓、計百五萬五千二百三十七圓、この總計百六十二萬四千二百三十二圓である、な

い所は實に二十二ヶ村の多數を占めて居る、これは財界の不況が町村財政を極度に逼迫せしめた結果である。

### 植田町會招集

石城郡植田町町會は來る二十日同村小學校に於て開催する豫定であるが土木委員、臨時出納検査員、植田町外二箇村組合専修學校組合會議員外數件を附議する

### 植田民政祝賀

植田町民政黨の組閣並新町會議員の當選祝賀會は十一日午後二時か同町菊多座において開催される。

## 平署の犯罪檢舉は 全國的に優秀

### 六ヶ月間の統計

平警察署に於ける本年一月から三月三十八日、五月四十日、六月六日迄の犯罪統計を見ると最も多いのは窃盜の三百五十七件であるがその中二百九十七件即ち九割は檢舉されてゐる、かうした好成绩は全國稀に見る記録で平署青田刑事部長の手腕が卓越してゐる事を物語つてゐる。犯罪發生、檢舉等左の如し。

犯罪種類	件数	発生検査数	同人員
窃盜	三五七	二七五	六
詐欺	二〇二	一五七	四
横領	一〇	一〇	一
賭博	三	三	一
傷害	三	三	一
業務傷害	三	三	一
失火	八	八	二
其他	二七	二七	一
合計	六六六	五五三	一五

尚ほ月別に見ると一月五十一件、二月四十八件、三月六十件、四月

## 平第三小學校は 七月末から着工

### 明年度から児童收容 八日土木委員會で決定

平第三小學校新築委員會は八日郡小名濱町公益質庫條例は五日午後一時から平町役場に開き協付内務大臣から指令されたので議の結果敷地の一部齋藤繁藏所同町では開設準備に着手した、有地は買収交渉が未解決となつ多分蓋明けは九月頃となる見込であるので新議員が交渉を行ふみである。

### 半年の 検死數

平警察署に於ける本年一月から六月迄六ヶ月間に於ける検死數は、溺死七、倒死五、自及二、溢死五、壓死二十、窒息六、火傷一、電死一、毒死二、曝傷三、壓傷三である。

### 新川改修 補助交附陳情

平町外二ヶ村水害豫防組合では遺言により息雄章氏より同町新川を縣補助工事として改修す

## 北米通信 (八)

蒼然たる黄昏の室に白亜三階の懐しむべき山莊。グワドバ、イ、ピウエルフニアア九時五分紐育行特急C型二千五百號はボストンの宵の寂寥を破つて汽笛一聲。十二時間たてば紐育だ。まだ忙がしいんだらう、汽車は今大ミシシッピの上を風を切つて疾走してゐる、七十哩だ。遠くに目をあざむく様な皎々たる照明燈の列。一瞬銀翼を輝やかしたつと關の中に消れてなくなる彗星の様な旅客機。米國スピード。星が三ツ四ツ。海

### 松崎自動車 少年を轢傷

平町一丁目松崎自動車平、小川間乗合自動車運轉手信夫郡金谷川村大字淺川字宮本明石金助(二三)が運轉し九日午前十一時十分頃平町町丸新館前を進行中、年十四歳の前後の男の子を轢き倒したので市原醫院に於て手當中であるが負傷の結果口が利けなくなつたので何れの者とも判明しない、平署から鯨岡警部補出張取調を行つてゐる。

### 戸田氏寄附

四倉町字仲町戸田イネ女史死去に付氏の遺言により息雄章氏より同町消防組へ金三十圓を寄附せり

### 公益質庫認可

石城郡新川を縣補助工事として改修す

### 磐城炭礦の 礦山歌

磐城炭礦青年會では七日會員百五十一名が同礦務課に參集し青年修養に關する講演を聴取した、尙ほ同礦では今回左の如き礦山歌を作製した。

一、夕静けき森の中、月光木の間に渡る處、雲流れゆく黎明の光に大氣澄む處、自然の靈氣身に享けて、われ人生を思ふかな。

二、額に汗の華なす、努力の歡喜君知るや、胸に湛ふる萬斛の、相愛の情世を救ふ、信條高く炬と燃えて、濁惡の世を照さん。

植田署では非常線を張り犯人捕縛に努め七日高萩方面に高飛びせんとする處を取押へた、各地同様窃盜を働いた形勢あり嚴重取調中。

▲平局員慰勞金 平郵便局では八日午後五時から局員並に局員家族の爲めに保健衛生講演會を元石城郡役所に於て開催、催講師は高久病院長高久忠氏である。

「地球は廻る」の作意について (三) 正木生 字幕 この畫面上に(火の發見)

### 磐城時報創立十五年紀念 中等野球決勝戦

決勝校 磐城中學  
安積中學

日時 七月二十日前後  
主催 磐城時報社

三、東海の濱日の出る國ぞ、祖傳の神の開きてし尊き日本道の國道義發れて混沌の、世界の暗を照すこそ、わが民族の使命なれ。

四、求めよさらば與へられ、叩けば開く向上の、一路進らん我が友よ、來れ遙かに永遠の希望の光仰ぎつ、貴く生きん諸共に。

### 前科五犯の賊

植田署が逮捕 安積郡多野村生れ當時住所不定無職前科五犯石川音藏(五〇)は六日午後十一時半頃勿來町小林徳次方へ忍び入り衣類数点價格五十圓余を窃取逃走急報に接し

前の焚火の場面のボーイズ似せる。火の上には、丸ごとの鹿焼がかれてゐる。字幕 弓矢の發見は人間の狩獵の方と術を興ひ食物を豊富にさせ生活を複雑なものにした周囲の男女は數は畧同敷衣類は毛皮や草で編んだ布を用ひてゐる。石器や弓矢が散亂してゐる。

場面 (山岳の上) 弓矢を持つ男が見張をしてゐる、何か發見して山から降りる。場面 「岩の間」 見張番が走り来る。場面 (洞穴の前)

### 腸胃

内科 専門 村松  
十二指 腸胃病 胃性病  
婦人病 皮膚病 専門 院 醫科 (七〇一話電 町南平)

### 時報文藝

五月の空に 取り残された 轍の柱の 風車はまわる 赤井嶽の 夏の陽は照る 白雲とけた 磐城名物 空ツ風 ナット吹きや 道一杯に通る。 撒水車が通る。

### 雑夫一名募集

一、身体強健なる者  
二、住込出来る者  
三、三十歳以下の者  
四、市内に保證人ある者  
五、食事は當場に於て支給す  
委細面談、希望者は正午御來場下され度し

株式 平魚市場

### 中元、暑中の 御贈答品は

ハンカチーフ  
石ヤツ  
シヤツ  
等々々々... 豊富荷揃

ニツヤ (〇四一話電) 四平

### 新妻眼科醫院

平町字紺屋町  
入院應需 ◆看護婦一名至急募集

### 器械新設 体温計無料検査

皆様の元手元まで御覽に入れました引札の如く今回最新優秀なる検査器を設置し無料で検査いたしますから御遠慮なく御持参を願ひます。

(検査日 毎月十日)  
平町二丁目(電話三番)  
指定販賣所 西村屋薬舗

### ビクター新譜着

モダン東京 誠に良い  
丸の内メロデー シヤツソング  
浪花小唄

蓄音器の修繕は安く良く早く  
電話一九番 大谷時計病院

### 七月九日ヨリ十五日マデ七日間

二度とない丸ほんのタンヌ特賣見切品如山この安値 全商品を揚げての大割引  
御待兼の 藏拂大賣出し  
一年一回の 堀出物澤山... ね早い勝ち  
夏家具の思ひ切つた割引 其他夏の御座敷道具全部  
平町三丁目  
タンス、家具、雜貨 名産品、漆器、一般 藤製品、夏家具類  
工場 平町新田前 電話(三五九番 七二三番)

### 外科 専門 X光線科

平町南町  
上田外科醫院  
電話一二九番

### ナツフク

小学生	一年生 八十錢	一年生 貳圓四十錢
	二年生 九十錢	二年生 貳圓五十錢
	三年生 一圓十錢	三年生 貳圓六十五錢
	四年生 一圓十錢	四年生 貳圓七十五錢
	五年生 一圓十錢	五年生 貳圓八十五錢

平町四丁目停車場通

### 正札堂